

#### 取組の背景・目的

現在中原児童センターは、施設の老朽化に伴う改築工事を行っており、仮設で運営をしています。令和5年7月に開館50周年を迎え、令和7年8月に新たなスタートを切ります。50周年記念イベントでは、当時の利用者や地域の方、歴代の職員等多くの方が足を運んでくださり、改めて中原児童センターが『居場所』として在り続けていたことを再確認することができました。そしてこの日を契機に、中原児童センターがより良い居場所となり、子どもが主役の児童センターをつくろうと「館長にモノ申す会」を実施しています。多様な子どもの特性やニーズに応じた居場所作りが必要と考え、子どもたちの意見を取り入れた環境づくりや運営、児童センターを『居場所』として定着させていくことを目的に、子どもが意見を述べる場を提供しています。また、ステップアップとして子どもが主体で行うイベントを実施し、区民まつりで子ども達が主体のお店を出店するなど、地域と子どもを繋ぎ、地域での居場所作りにも繋がっています。

※50周年イベントの様子↓



<OBによる楽器体験>



<カラムコーナー対戦風景>



<らくがきコーナー>

#### 取組の概要

実施名称：「館長にモノ申す会」

実施場所：中原児童センター（公設公営）

実施頻度：月に一回 水曜日 午後3時～4時

参加対象：小学生3年生～中高生

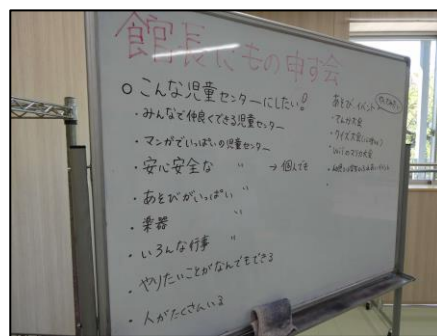
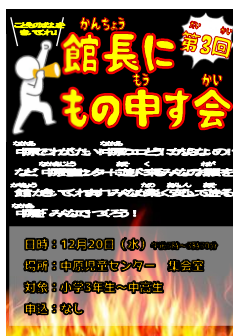
職員体制：館長 他常勤職員1名

内 容：今月の議題（テーマ）について話し合う

「こんな児童センターにしたい」「部屋のルール決め」「購入物品について」等

## 工夫点・留意点

- ・学校や学年の違う子どもたちが集まる為、初回は発言を躊躇する姿も見られましたが、職員がどんな意見も否定せずに子ども達からの意見やアイデアを全面的に尊重するように心掛け、みんなが自由に意見を述べやすい雰囲気がつくられていきました。
- ・会の最初には必ず前回の振り返りを行ってから始めています。例えば、前回決めたルール表を作成し、貼りだしてみてもうどうだったか？効果はあったか？など、作っておわりにはせず次に活かせるようにしています。



## 取組の効果

- ・子どもたちの「やってみたい」の意見から、様々な事業が実現しました。中でも、「一緒に遊ぼうスタッフ」は“幼児とふれあうイベントがしたい”という子どもたちの声をもとに、毎週土曜日に実施している乳幼児事業へ、小学3年生以上がスタッフとして幼児親子の遊びをサポートしています。現登録者は8名。参加している親子から「遊んでくれてありがとう」と感謝されることで、子どもたちの自己肯定感へと繋がっています。
- ・決定した意見を実現させようと試みても行き詰まることも多いが、職員が必要に応じてサポートし、子どもたち主体で「カラオケ大会」「クリスマス会」「新春遊び大会」等を実施することができました。回を重ねるごとに子どもたちの自己肯定感が育まれ、「またやりたい」「次はこんなことをやってみたい」と発展していきました。

## 課題・今後の展開

これからも中原児童センターで「館長にモノ申す会」を継続して実施し、0~18歳までの子どもたちの意見が聞けるよう、意見BOXの作成やアンケートを取るなどして幅広い層へと働きかけていく必要があります。また、子どもたちが主役の運営委員会となるよう、組織化したものへとブラッシュアップしていきたいと考えています。